

4 装着

1 一般的なロープアクセス個人装備の装着

1 ヘルメットをかぶる



長い髪の毛は束ねて収納する。必ず下降器に接する範囲から遠ざける。
(使用中の下降器のロープ吸い込み部に髪の毛が巻きつく危険あり。無毛がおすすめ。)

ロングヘアの問題

髪の毛が下降器に巻き込まれると、自らの体重で自らの髪の毛を引っ張る事になる。荷重を抜くことができれば、切断するしかない！



2 シットハーネスを履く



この時メインカラビナに、装着者自身からみて右から、チェストアッセンダー、カウズテイル、の順で取り付けておく。

3 チェストハーネスをつける



チェストアッセンダーのトップホールを使って首や肩や脇を通して結束し、チェストアッセンダーを体に沿わせて固定させる。

4 ハンドアッセンダーを持つ

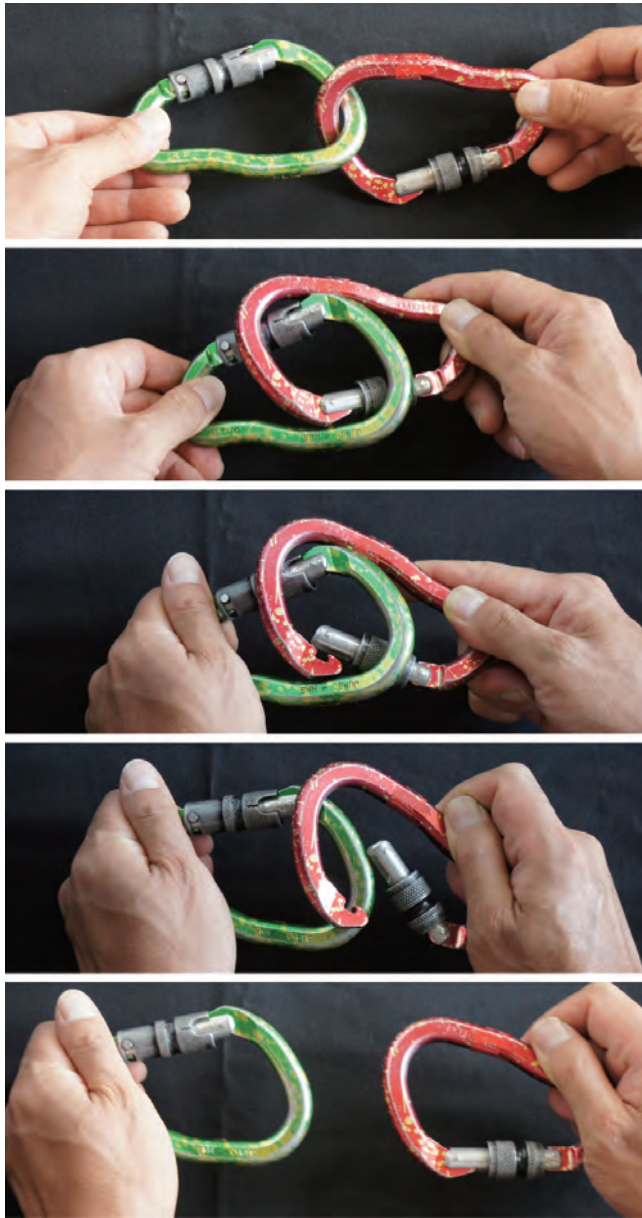


ハンドアッセンダーにスピーディーマイロンを使ってフットループを接続する。スピーディーにカラビナをかけておき、使用しないときはフットループを短く折りたたんでギアラックにかけておく。
カラビナをブーリーを内蔵しているリボルバー（DMM製）にしておくと、すぐに3倍力が構築できて便利。



2 カラビナ同士の連結禁止

下降器やアッセンダー、カウズテイルなどをハーネスに接続する際（リギング時も同様）、基本的にカラビナ同士を連結してはならない。カラビナがねじれて荷重することで、ゲートを強制的に開放させる事故が生じる可能性がある。



下降器とメインアタッチメント、あるいはデミロンドカラビナの接続は例外。

アッセンダーハーネス（シットハーネスのメインアタッチメントを半円形のデミロンドカラビナで接続するもの）やその他のワークソリューションハーネス（あらかじめメインアタッチメントにリングが縫い込んであるもの）に下降器を接続する場合はカラビナ同士、またはカラビナと金属製メインアタッチメント同士を接続することになる。

この場合はやむを得ないが、下降器側のカラビナをできるだけ小さなものにする。大口径のHMSなどは、ねじると容易に外れてしまう。もちろん、安全環付きのカラビナを使うこと。

やむをえずカラビナ連結で接続した個所については、再荷重時にねじれなく荷重されているかどうか、荷重完了まで目を離さずに荷重の様子を注視すること。

